

西側で、茶褐色のうすい砂層を追いかけて、地層の広がりを、理解させたい。

(3) 地層に近づいて観察する。

④層は淡黄色の塊状で成層は見られない粘土層です。

⑤層は 20 cm の厚さの砂に混じった粘土層で色は黄褐色です。

⑥層は 30 cm の厚さの砂層で色は茶褐色です。

⑦層は 10 cm の厚さの砂質粘土層です。

これらの地層は、新第三紀の鮮新世の末のたい積物ですから固結度も弱く、やわらかい地層です。

2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

日下石川下流の大迎橋付近の川原

(2) 土手から川原の様子や、水の流れを観察する。

① 土手の上から、水の流れや、川原や、州などをスケッチする。

② ④の付近は、水の流れが曲がって流れているが、川原は流れの内側にできているか、外側にできているか。

③ また川原の反対側の岸の様子はどうか。州などができて浅くなっているか。岸がけずられているか。

(3) 川原において観察する。

① ④の付近で、川原から向いの岸に進むにつれて、深さはどう変わっているか。

② 水中のぞき箱で川底をのぞき、砂が流されている様子など観察する。

